

道徳科の授業の考え方・つくり方

(学習指導要領解説が示す内容を手掛かりに)

道徳

東京学芸大学
先端教育人材育成推進機構
上廣道徳・倫理教育研究開発推進室長
教授 永田 繁雄



東京学芸大学
Tokyo Gakugei University

■ 今回の話題で考えたいこと

道徳

- 1 なぜ「考え、議論する道徳」なのか？
- 2 道徳科の目標に表われる授業イメージ
- 3 主体的・対話的で深い学び
- 4 道徳科の学習指導案作成の手順
- 5 授業に生かす指導方法の7つの工夫
- 6 「質の高い3つの指導方法」とは



東京学芸大学
Tokyo Gakugei University

1 なぜ「考え、議論する道徳」なのか？

「特別の教科 道徳」＝道徳科の授業で子供の「考え、議論する」学習授業が強調されるのはなぜなのか？



東京学芸大学
Tokyo Gakugei University

1 なぜ「考え、議論する道徳」なのか？

■参考：小・中学校時代に受けた道徳授業の印象

- 国語との違いが分からなかった。読み取りと何が違うのだろう。
- 先生によって取り組み方が全く違った。隣の組が斬新で羨ましかった。
- 好きな学習だが、尊敬できない教師に授業されるのが不快だった。
- 先生のモチベーションがよくなく、あたりさわりのない授業をしていた。
- 担任の先生が穏やかで、お父さんやお母さんのように思えた。
- 教材についてみんなで議論して、ヒートアップもした。
- 様々な立場で考える授業は面白かった。特別な授業の気がしていた。
- ▼ 先生の用意した答えの方向に導かれていただけのようだった。
- ▼ 「こう書くべき」みたいなものがある、自分の考えを押しつぶしていた。
- ▼ 「どの意見もいい意見だね」で終わるから、道徳はつまらないと感じた。
- ▼ 常識や、知っていることがほとんどなので、やる気が落ちていった。
- ▼ 子供もいろいろ情報をもっている。正直、時代遅れだと思う。

本学の学生の感想の中から一部を要約整理(2018以前)
《道徳が「道徳の時間」として実施されていた頃》



東京学芸大学
Tokyo Gakugei University

1 なぜ「考え、議論する道徳」なのか？

■ 解説書に整理されたその趣旨から

- ◆特定の**価値観を押しつけたり**、主体性をもたず**言われるままに行動するよう指導**したりすることは、**道徳教育が目指す方向の対極**にあるものと言わなければならない。
- ◆**多様な価値観**の、時に対立がある場合も含めて、誠実にそれらの価値に向き合い、道徳としての**問題を考え続ける姿勢**こそ道徳教育で養うべき基本的資質である。

答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の児童（生徒）が自分自身の問題と捉え向き合う
「**考える道徳**」「**議論する道徳**」へと転換を図る。



※ 「小・中学校学習指導要領（平成29年告示）解説
特別の教科 道徳編」小学校p.2,中学校p.2に基づき整理



2 道徳科の目標に表われる授業イメージ

道徳科の目標には、授業の流れが反映されている。それをどのように押さえるとよいのか？



2 道徳科の目標に表われる授業イメージ

■ 道徳科の目標と道徳の授業の姿

◎ よりよく生きるための基盤となる
道徳性を養うため、

- ① 道徳的諸価値についての理解を基に、
- ② 自己を見つめ、
- ③ 物事を(中:広い視野から)多面的・多角的に考え、
- ④ 自己の生き方(中:人間としての生き方)についての考えを深める学習を通して、
- ⑤ **道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度**を育てる。

道徳授業の姿を
考える手掛かり



2 道徳科の目標に表われる授業イメージ

■ 道徳科の目標に見られる授業(学習)の流れ

① 道徳的諸価値についての**理解**を基に、

価値理解
人間理解
他者理解
など

② **自己**を見つめ、



③ 物事を(中:広い視野から)**多面的・多角的**に考え、

多面的・
多角的な
思考

④ 自己の**生き方**(中:人間としての**生き方**)
についての考えを深める学習

生き方
についての
考え

※ 「小・中学校学習指導要領（平成29年告示）解説
特別の教科 道徳編」小学校p.14~,中学校p.17~を参考



3 主体的・対話的で深い学び

いわゆるアクティブ・ラーニングを、道徳科の指導でどのように描くことができるか？

3 主体的・対話的で深い学び

別の説明の再

■ 道徳科での配慮事項とアクティブ・ラーニング

●第3章 第3の「内容の取扱い」の(3)~(5)に示すカギとなる表現

- (3) 自らを振り返って成長を実感
課題や目標を見付ける
主体的に学習に取り組む
- (4) 多様な感じ方や考え方に接する
表現する力を育む 言語活動を充実する
- (5) 発達の段階や特性を考慮する
問題解決的、体験的な学習等を取り入れる
学んだ内容の意義などを考える

主体的な
学び

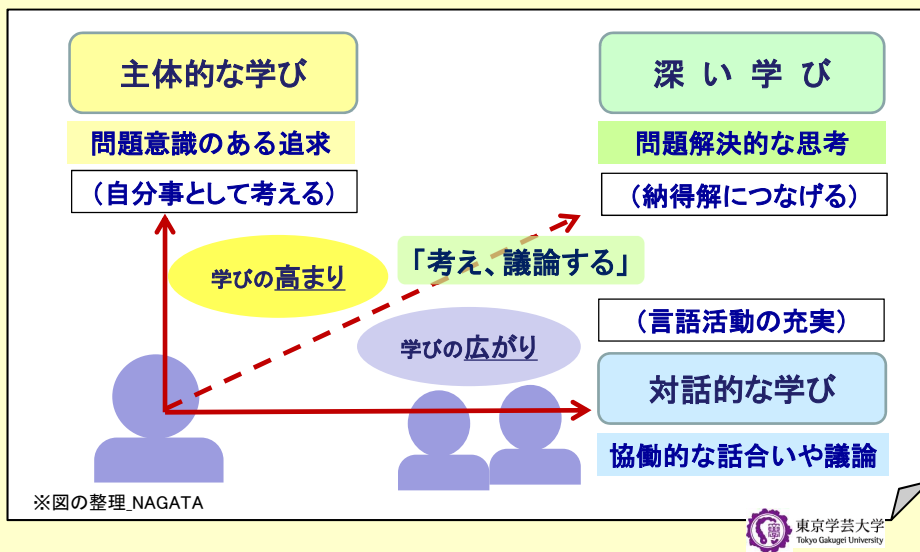
対話的な
学び

深い
学び

※文部科学省(2017)「小・中学校学習指導要領(平成29年告示)」の第3章・第3の2における(3)(4)(5)の内容をもとに要約

3 主体的・対話的で深い学び

■ 主体的・対話的で深い学び~1つのイメージ



4 道徳科の学習指導案作成の手順

道徳科の学習指導案作成の流れが解説書に示されているが、そこでの押さえどころは何か？

4 道徳科の学習指導案作成の手順

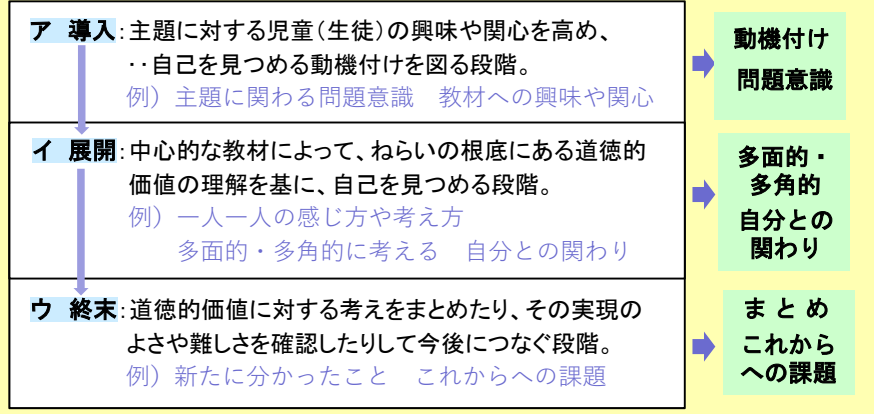
道徳科の学習指導過程を描く

p.82

p.81

道徳科の学習指導過程には、特に定められた形式はないが、一般的には以下のように設定することが広く行われている。

【注目ワード】



※ 「小・中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科 道徳編」小学校p.82,中学校p.81より要約



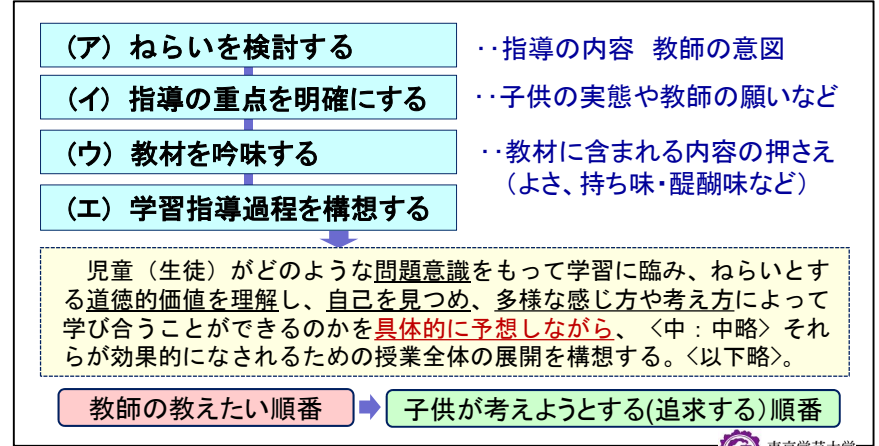
4 道徳科の学習指導案作成の手順

道徳科に生かす指導方法の工夫

p.81

p.79

学習指導案作成の手順は、それぞれの状況に応じて異なるが、おおむね次のようなことが考えられる。



5 授業に生かす指導方法の7つの工夫

道徳科の授業に生かす指導方法の工夫は、小・中ともに7つに整理されている。それはどんなものか？



5 授業に生かす指導方法の7つの工夫

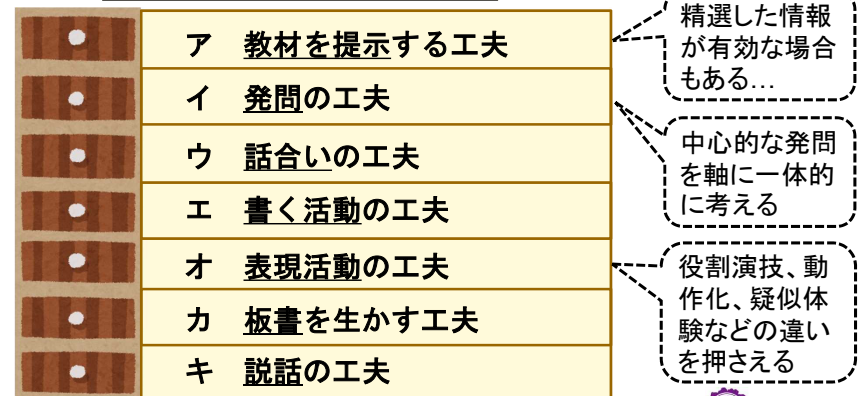
道徳科に生かす指導方法の工夫

p.84

p.83

児童(生徒)が問題意識をもち、主体的に考え、話し合うことができるように、…最も適切な方法を選択し、工夫して生かす。

指導方法の「7つの引き出し」



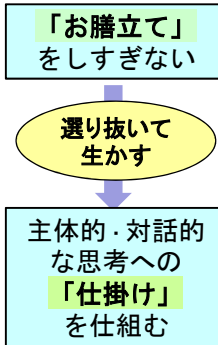
5 授業に生かす指導方法の7つの工夫

■ 道徳科に生かす指導方法の工夫

児童(生徒)が問題意識をもち、主体的に考え、話し合うことができるように、…最も適切な方法を選択し、工夫して生かす。

指導方法の「7つの引き出し」

ア	教材を提示する工夫
イ	発問の工夫
ウ	話し合いの工夫
エ	書く活動の工夫
オ	表現活動の工夫
カ	板書を生かす工夫
キ	説話の工夫



6 「質の高い3つの指導方法」とは

文部科学省は3つの「質の高い指導方法」をなぜ示したのだろう。また、それをどう生かすとよいのか？

6 「質の高い3つの指導方法」とは

■ 文部科学省が初めて示した指導方法の類型

道徳科における質の高い多様な指導方法について（イメージ）

読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習	問題解決的な学習	道徳的行為に関する体験的な学習
・人物の判断や心情 ・自分との関わり	・道徳的な問題 ・多面的・多角的な議論	・役割演技や疑似体験 ・人物の葛藤の再現
△心情のみ追う指導になる不安	△テーマ設定と追求プロセスが重要	△問題場面と効果的な教材が必要

共感を手段として

これらは多様な指導方法の一例であり、3つの「型」が独立しているわけではない。それぞれを組み合わせた指導も可能。

方法的な工夫として

6 「質の高い3つの指導方法」とは

■ 文部科学省が初めて示した指導方法の類型

道徳科における質の高い多様な指導方法について（イメージ）

読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習	問題解決的な学習	道徳的行為に関する体験的な学習
・人物の判断や心情 ・自分との関わり	・道徳的な問題 ・多面的・多角的な議論	・役割演技や疑似体験 ・人物の葛藤の再現

共感を手段として

これらを生かし合って、子供が、意欲的に「考え、議論する授業」を柔軟に生み出そう!!

方法的な工夫として

道徳科の授業の考え方・作り方

(学習指導要領解説が示す内容を手掛かりに)

道徳

- 1 なぜ「考え、議論する道徳」なのか？
- 2 道徳科の目標に表われる授業イメージ
- 3 主体的・対話的で深い学び
- 4 道徳科の学習指導案作成の手順
- 5 授業に生かす指導方法の7つの工夫
- 6 「質の高い3つの指導方法」とは

東京学芸大学
先端教育人材育成推進機構
上席道徳・倫理教育研究開発推進室長
教授 永田 繁雄

終了



東京学芸大学
Tokyo Gakugei University